

未来へ夢が広がるまちづくりへ 遠野スタイル創造推進。



高清水展望台から望む遠野盆地

夢が広がるまちへ

平成という時代が始まって二十年、新遠野市がスタートして三年という節目を迎えました。平成十八年に策定した「遠野市総合計画基本構想・前期基本計画」により、「遠野スタイルの創造」を基本理念とし、知恵と工夫、自助努力によるまちづくりに積極的に取り組んできました。

二十年度予算は「遠野スタイル創造推進予算」と位置づけ編成しております。特にも、遠野わらすっこプランの実施や総合食育センター整備などの教育環境の充実、未来の遠野市を担う子どもたちになくてはならない取り組みであると考えています。地域の宝である子どもを安心して育てられる環境を充実させていくことは、まさにまちづくりそのものであるともいえます。生活の根幹となるインフラの整備や産業の充実を基盤としながら、育児を地域で支える総合的な応援体制を整え、「子育てをするなら遠野で」という未来へ夢が

広がるまちづくりに向け、着実に歩を進めていきたいと思えます。

地域づくりは人づくりとも言われています。地域に「熱意」があれば、地域の「絆」が強ければ、それが地域の「力」となります。本市には、遠野遺産認定制度によって示された地域住民自らが真に必要なことを選び取り、その意思と行動によって地域づくりを実現していこうとする大きな気風がはぐくまれていきます。

光り輝く「遠野らしさ」

私は、「古くて新しいものは光り輝く」と信じています。明治・大正・昭和の時代に学ぶべきことを大切にしながら、平成のIT社会とも融合した「遠野らしさ」、「遠野ならでは」にこだわりを持ち、この気風を大切に守り育てながら、先人から受け継いだ風格ある自然・歴史・文化・風土を基盤として、市民の皆さまと共に手を携え、「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向け、全力を傾ける決意です。



としまき 本田敏秋 遠野市長